

# 平成27年第3回川崎市議会定例会

## 請願陳情文書表

(その2)

請 願 文 書 表

受理番号	受理年月日	件 名	請 願 提 出 者	紹 介 議 員	要 旨	付託委員会
4	27. 7. 6	成人ぜん息患者医療費助成制度の存続に関する請願	川崎区 川崎公害病患者と家族の会 会長 ほか 142団体	花 輪 孝 一 飯 塚 正 良 佐 野 仁 昭 渡 辺 あつ子	<p>市は平成27年度予算で「持続可能な行財政基盤の構築」を掲げ、「既存事業等の廃止、見直し」を打ち出し、成人ぜん息患者医療費助成制度を「見直し」の対象にしています。</p> <p>治療費の心配をせずに受診できる医療費助成制度は、治療の継続と症状の改善が期待できます。それに対して、制度の縮小は高額な医療費がかかるぜん息の受診抑制を来し、そのことによりぜん息発作による命の問題にもなりかねません。つきましては国と企業の責任を認めた当初の理念に立ち返り、成人ぜん息患者医療費助成制度を現行の内容のまま存続させることをお願いいたします。</p>	健康福祉 委員会

## 陳 情 文 書 表

受理番号	受理年月日	件 名	陳 情 提 出 者	要 旨	付託委員会
14	27. 6. 22	武蔵小杉駅～井田病院間の市営バス路線の拡充に関する陳情	中原区 今井上町町会長	武蔵小杉駅～井田病院間の市営バス路線は、病院へのアクセスに優れた小杉駅東口出発便が大変少なく、病院からの武蔵小杉駅行きも同様に少ないのが現状です。武蔵小杉駅～井田病院間の市営バス路線の拡充をお願いいたします。	環境委員会
15	27. 6. 23	出来立てで、おいしく、安全・安心な中学校給食をもとめる陳情	幸区在住者 ほか 5,735名	不安だらけの「センター給食」の拙速な導入ではなく、小学校で実績が試され済みの「自校調理方式」を、少しでも増やしていくことを陳情します。中学校給食では、出来立てで、おいしく、安全・安心の「自校調理方式」の学校を増やしてください。	総務委員会

受理番号	受理年月日	件名	陳情提出者	要旨	付託委員会
16	27. 6. 30	小杉の再開発地域におけるビル風の実態調査とビル風の抜本的な対策を求める陳情	中原区 小杉・丸子まちづくりの会事務局長 ほか 1,555名	小杉の再開発でビル風被害が広がっています。市は現況調査を実施し、ビル風被害のない安心・安全なまちづくりを進めてください。 1 小杉再開発地区全体の風環境の観測を一定期間実施し、ビル風の現況把握を行ってください。(開発地区全体を把握するのに必要な数の風向・風速計を、気象庁の観測基準で設置してください。) 2 ヒアリングやアンケートなどで小杉地区のビル風被害の実態調査を実施してください。 3 ビル風対策を進めるために、風工学などの専門家による市の諮問機関等を設置してください。 4 コンピュータシミュレーションなど、最新の技術で対応したビル風を無くす対策を打ち出してください。 5 風環境の現況調査やビル風被害の調査状況を随時市民に公表し、説明会を開いてください。	まちづくり委員会

受理番号	受理年月日	件名	陳情提出者	要旨	付託委員会
17	27. 6. 30	J R東海のリニア新幹線工事の地域説明会の結果について市議会と市民と行政で検証し、必要に応じて再度住民への説明会の開催を求める陳情	宮前区 リニア新幹線を考える高津・中原・宮前・麻生・多摩の会 共同代表	J R東海によるリニア新幹線工事の町会、自治会単位の地域説明会が市内12か所で開催されました。各説明会で特に次の3点 (①開催のお知らせ方法は参加人数との関係などで十分であったか、②開催日と参加人数、開催日程、時間帯は良かったか、③説明内容と住民の質問や意見に対してまともな回答であったか) を市議会と市民と行政で検証し、検証の結果説明が十分でなかった場合は再度、地域説明会の開催を求める陳情をいたしますのでよろしくお願いいたします。	まちづくり委員会
18	27. 6. 30	J R東海のリニア新幹線工事の地域説明会での梶ヶ谷立坑の泥水の処理の回答の検証と、必要によっては再度、川崎市アセス実施を求める陳情	宮前区 リニア新幹線を考える高津・中原・宮前・麻生・多摩の会 共同代表	J R東海によるリニア新幹線工事の地域説明会 (2014年 (平成26年) 12月16日 (火) 18時30分 梶ヶ谷小学校 (高津区)) の際、会場からの質問で梶ヶ谷立坑の泥水の処理の質問に対し、①まずできるだけ、循環型で再利用する、②駄目ならバキュームカーで吸い取り他で処理する、③駄目なら最後は市と相談して矢上川に流す、と回答がありました。産業廃棄物である泥水を矢上川に流すとは環境保全上あり得ない回答でした。  この回答の事実関係を確認いただき、その処理をするのであれば、再度市アセス実施か事後調査を求める陳情をいたしますのでよろしくお願いいたします。	まちづくり委員会

受理番号	受理年月日	件名	陳情提出者	要旨	付託委員会
19	27. 7. 2	(仮称) 高津区野川P J川崎市高津区野川字 中耕地1434番2ほか6 筆の一部における宅地 造成計画に関する陳情	高津区 野川住民生活・緑を 守る会代表  ほか280名	<p>高津区野川字中耕地1434番地2ほか6筆の面積1,952.30㎡の急傾斜地に、一昨年(平成25年)4月、開発計画が持ち上がりましたが、度重なる計画変更、工事の中断と工事現場の放置に加え、住民の不信と不安は募るばかりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 事業者の住民への説明内容は全く不備、不十分で説明会とは言い難い状況が続いています。事業者としての説明責任を誠実に果たし、誠意を持って話し合いを重ねるよう事業者に対して御指導をお願いいたします。</li> <li>2 軟弱地盤を勘察すれば地質のボーリング調査は不可欠です。ボーリング調査を行いそのデータを公表すること、及び崖下住民に対する日影図の作成を求めてきましたが、事業者はコストを理由に応じておりません。これらのデータを開示するよう事業者に御指導をお願いいたします。</li> <li>3 住民の不安を少しでも減ずるよう、工事協定を結び、遵守するよう事業者に御指導をお願いいたします。</li> <li>4 度々の計画変更や工事の中断、放置などこの事業者が危険な崖地開発を行う「資力と信用」を備えているか甚だ疑問です。行政は、開発許可を下ろせば後は業者任せと言うのではなく、工事中の安全確保について住民の不安を解消する特段の努力を行うよう、お願いいたします。</li> </ol>	まちづくり 委員会

受理番号	受理年月日	件名	陳情提出者	要旨	付託委員会
20	27. 7. 6	麻生区上麻生、荒川建設地下室マンション建設工事の切土部崩壊・土砂流出事故の原因究明と安全対策を求める陳情	麻生区 王禅寺・上麻生の住環境を守る会代表	<p>切土部の崩壊事故等を連続して起こしている荒川建設の工事に対して住民は大きな不安を感じています。大雨等により根切り部で土砂崩れが起きれば、周辺住宅へも災害が及ぶのではないかと心配が募る日々です。</p> <p>1 地質の専門家による事故原因究明</p> <p>切土部の同じ地層で連続して崩壊事故が起きるのは、地質上の基本的な原因があると思われます。住民が意見を求めた複数の専門家は、事業者及び行政とは異なる所見を示しています。専門家集団による原因究明を実現するよう議会の協力をお願いします。</p> <p>2 再発防止対策の指導と安全性の確認</p> <p>類似した事故が連続しているのは、再発防止対策が不十分なまま工事が行われているのではないかと不安があります。市として、原因究明に即した適切な再発防止対策と安全確保につき事業者を厳しく指導するよう、議会の御協力をお願いします。</p> <p>3 住民に対する説明</p> <p>上述の各項目に関し、住民の不安が除去されるまで誠意ある説明会を開催するよう事業者を指導してください。しかし、過去の経緯からすると事業者が指導に従うか疑問です。行政の責任においてこの問題に関する全ての情報を住民に説明する場を持つよう、議会の御協力をお願いします。</p>	まちづくり委員会

受理番号	受理年月日	件名	陳情提出者	要旨	付託委員会
21	27. 7. 6	柿生の里緑地を守り抜くことを求める陳情	麻生区 柿生の里緑地を守る 連絡会代表	<p>麻生区上麻生7丁目に位置する緑地は、本市の宝とも言うべき貴重な緑地です。市内一級のこの貴重な緑地を次の世代に引き継ぎ、あわせて地元住民の深刻な住環境破壊を防止するため、市議会におかれましても、再々再度差し迫った開発の危機から柿生の里緑地を救い出す意思表示をしていただきたく陳情する次第です。</p> <p>1 20回を超える緑政部局の保全交渉がいったんは不調に終わったとはいえ、事業者も市と市民との話合いの扉を開じたわけではありません。これをもって交渉断念とせず、あらゆる手立てを尽くして緑地保全の可能性を追求してください。</p> <p>2 一たび工事が始まれば地元住民には様々な工事被害が集中します。崖地開発で多発している崩落や土石流事故も心配です。この危険を回避するためにも、緑地保全が最適の選択と信じます。隣接の柿生の里特別緑地保全地区で先行して実践されているように、市民参加による里山再生活動こそが美しい樹林地を育て、そのことで斜面地の安全を高めることとなります。近隣住民の安全な住環境を守るためにも、緑地保全に御尽力をお願いします。</p>	まちづくり委員会